

2025 年 10 月 16 日

長瀬産業株式会社

オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社

カイハラ株式会社

NAGASE グループとカイハラ リサイクルインディゴ染料の実用化を開始 ～『EnzyBlue』、EDWIN KYOTO SANJO 店 1 周年記念モデルに初採用～

長瀬産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上島 宏之、以下「長瀬産業」）と NAGASE グループのオー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：篠田 篤、以下「ONC」）は、廃棄デニム繊維や古着を原料に開発したリサイクルインディゴ染料「EnzyBlue（エンジーブルー）※」の実用化を開始いたしました。この度、デニム素材の生産を手掛けるカイハラ株式会社（本社：広島県福山市、代表取締役社長：貝原 護、以下「カイハラ」）と協業し、国内デニムブランドとして製造から販売までを手掛ける EDWIN の EDWIN KYOTO SANJO 1 周年限定モデルに採用されることが決定しました。

※2025 年 10 月 7 日リリース：

廃繊維から再生したリサイクルインディゴ染料「EnzyBlue（エンジーブルー）」を開発

今回の実用化は、国内で唯一、紡績から整理加工まで一貫してデニム生地を生産できるカイハラとの協業により実現しました。NAGASE グループは、創業以来培ってきた染料事業をバイオ技術で革新し、廃棄デニム繊維や古着から再生インディゴ染料「EnzyBlue」を製造。カイハラはこの染料を活用することで、従来焼却されていた廃繊維に新たな命を吹き込み、付加価値の高い生地開発へとつなげています。今回、EDWIN の限定モデルに採用されたことで、3 社はサステナブルなものづくりの可能性を広げ、ファッション業界における環境負荷低減と循環型社会の実現に向けた一歩を踏み出しました。

EDWIN コメント（技術評価・採用ポイントなど）

アパレルおよびデニム産業に係る環境負荷低減は企業使命の重要な一つと認識しています。我々EDWIN も、あらゆる製造過程での改善や製品の回収など、様々な角度でこれらの課題に向き合い日々ジーンズを生産している中で、今回の再生インディゴ染料「EnzyBlue」は、従来の化学合成インディゴ染料や廃繊維の課題を解決する新しい技術だと認識し、採用させて頂きました。

「EnzyBlue」は、今後のデニム産業における環境面での課題解決や可能性につながっていくと確信しています。

長瀬産業概要

- ・社名：長瀬産業株式会社
- ・本社所在地：東京都千代田区
- ・代表者：代表取締役社長 上島宏之
- ・事業概要：化学品、合成樹脂、電子材料、化粧品、健康食品等の輸出・輸入及び販売
- ・URL：<https://www.nagase.co.jp>

オー・ジー長瀬カラーケミカル概要

- ・社名：オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社
- ・本社所在地：大阪市西区
- ・代表者：代表取締役社長 篠田 篤
- ・事業概要：染料やケミカルの販売
- ・URL：<https://ognagase.co.jp/>

カイハラ概要

- ・社名：カイハラ株式会社
- ・本社所在地：広島県福山市
- ・代表者：代表取締役社長 貝原 護
- ・事業概要：デニム素材の一貫生産（紡績、染色、織布、整理加工）及び販売
- ・URL：<https://www.kaihara-denim.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 URL：<https://www.nagase.co.jp/>

<事業に関するお問い合わせ>

機能化学品事業部 トータルソリューション部 環境材料開発課 長瀬
TEL：080-2542-5064

<報道に関するお問い合わせ>

経営管理本部 コーポレートリレーション部 PR課 服部
TEL：070-4314-0671